

『エジソン 努力とひらめきの発明王』

川崎市立鷺沼小学校二年

水谷 みずたに

凜 りん

わたしがこの本を読んでエジソンはすごい!! と思ったところは二つあります。

一つ目は、どんなにしっぱいしてもあきらめなかったところです。わたしはしっぱいすることがきらいです。はずかしくてこわくて、しっぱいしそうな時はやりたくなくなります。だけどエジソンは、お母さんの「なんどでも、ためしてみるものが、大切よ。」と言う言葉をしんじ、「一万回しっぱいしても、それは一万回、うまくいかない方ほうをはっ見たことなんだ!」とあきらめずについにせいこうさせます。エジソンの考えでは、しっぱいはしっぱいとは言わないかもしれない。わたしは、はじめてしっぱいはこわくないと思えました。

二つ目は、自分だけのつくりたいものではなくて、人びとがほしがっているもの、よろこぶものをつくったところです。自分がつくりたいものだけをはつ明してもいいのに、くらしがべんりになるようにややくに立てるように、と考えられるのがすごい! 人にやさしいなと思いました。

わたしにはぜったいかなえたいゆめがあります。そのゆめをかなえるために、しっぱいをしっぱいと思わず、あきらめずにすすんでいききたいと思います。